

全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

ホームページアドレス [<http://www.zenhokyo.gr.jp>]

—今号の目次—

- ◆ 第 63 回全国保育研究大会（広島市大会）
ご参加のお申し込みを継続して受付しております
—第 10 分科会のプログラム、第 11 分科会フリー発表分科会の
テーマ・発表者が決定しました…………… 1
- ◆ 令和元年度「社会福祉施設等調査」ご協力のお願い（厚生労働省）…………… 4
- ◆ 「児童福祉週間」標語の募集（厚生労働省）…………… 4

◆第 63 回全国保育研究大会（広島市大会） ご参加のお申し込みを継続して受付しております —第 10 分科会のプログラム、第 11 分科会フリー発 表分科会のテーマ・発表者が決定しました

全国保育研究大会は、令和元年 11 月 13 日～15 日、広島市において開催いたします。

すでにお申し込みをいただいているかたには重ねてのご案内となりますが、締切日の 9 月 20 日以降も引き続き申し込みを受け付けいたしますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

2 日目には、下記の分科会を開催いたします。なお、第 10 分科会（特別分科会）「これからの保育に必要な視点」では、ナウトピックを盛り込んだ講義等を展開します。第 11 分科会フリー発表分科会では多彩な研究発表が行われます。

3 日目の記念講演は、京都大学 名誉教授 鯨岡 峻 氏に「保育することをとおして、子どもも保育者も育つために」をテーマにご講演いただきます。

「すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして」保育実践の一層の向上をめざして開催いたします。お申し込みをお待ちしております。

〔第 63 回全国保育研究大会 第 2 日目 分科会一覧〕

第 1 分科会 新たな時代の保育実践 ～すべての子どもにむけて～	広島都市学園大学 准教授 深澤悦子 氏
第 2 分科会 配慮を必要とする子どもや家庭への支援に向けて	広島大学 教授 七木田敦 氏
第 3 分科会 保育者の資質向上を図る	大阪総合保育大学 学長・教授 大方美香 氏
第 4 分科会 地域の子育て家庭への支援の充実にむけて	日本社会事業大学 教授 金子恵美 氏
第 5 分科会 子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク	白梅学園大学 教授 長谷川俊雄 氏
第 6 分科会 『食を営む力』の基礎を培う食育の推進	白梅学園大学 教授 師岡 章 氏
第 7 分科会 保育の社会化にむけて ～保育の営みをいかに社会に発信するか～	神戸大学大学院 准教授 北野幸子 氏
第 8 分科会（開催地分科会） 学ぶ 語る 祈る 平和	※第 8 分科会は定員に達したため、受付を終了しました。
第 9 分科会 公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割	中村学園大学 教授 那須信樹 氏
第 10 分科会（プログラムは下記をご参照ください。）	
第 11 分科会 フリー発表分科会	

分科会は、お申し込み時に選択してください（参加申込書にご希望の分科会を記入）。

第 10 分科会のプログラムが決定いたしました。

午前中の講義 I ・対談では、参加者の皆さまの意見交換も予定しております。

第 10 分科会（特別分科会）「これからの保育に必要な視点」プログラム	
9：30～12：15 講義 I ・対談	<p>「新時代の保育所・認定こども園 —これからの幼児教育・保育ニーズにどう応えるか」 大阪府立大学 教授 関川芳孝 氏 (対談者：全国保育協議会 副会長 森田信司)</p> <p>子ども・子育て支援新制度は 5 年目を迎え、新制度施行後に保育所・認定こども園はどう変わったのか（どう変わるべきだったのか）、保育所・認定こども園の役割について講義を通じて改めて考えます。</p> <p>対談では、子ども・子育て会議における論点を踏まえ、本会の意見表明や提出した意見書について説明し、これからの社会を見すえ、保育所・認定こども園の経営の視点や地域における役割の視点から、幼児教育・保育、子育て支援のニーズに応えるための経営のあり方について参加者とともに考察します。</p>

<p>13:15～14:45</p> <p>講義Ⅱ</p>	<p>「保育の質向上の追求 ―計画・実践・評価をすすめるために」 東京大学 准教授 野澤祥子 氏</p> <p>保育の質を高めるために、実践の評価、見直しが必要であり、国の「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」の議論や、6月に公表された実践事例集、また、検証セッションがスタートしている「自己評価ガイドライン」の活用について学びます。</p>
<p>15:00～16:30</p> <p>講義Ⅲ</p>	<p>「海外の実践から保育の向上について学ぶ」 東洋大学 教授 内田千春 氏</p> <p>海外の幼児教育・保育を向上させるための仕組み、海外では保育の質をどのように捉えているのか、OECDのデータなどから「保育の実践を高める（保育の質を高める）」海外での取り組みの例やどのような考え方があるのか、日本の無償化を迎える保育所・認定こども園でどのように活かすことができるのかなどを考えます。</p>

第11分科会 フリー発表分科会の発表テーマ・発表者が決まりました。

第11分科会（特別分科会）フリー発表分科会 発表テーマ一覧	
都道府県・市 法人・施設名 発表者【敬称略】 ※発表順は調整中	発表テーマ
群馬県 社会福祉法人峰悠会 認定こども園あおぞら幼 保園 小林 真理子	保護者支援 ～親子が成長していくプロセスにより そう～
茨城県 かすみがうら市立やまゆり保育所 田上 裕子	気持ちに寄り添う保護者支援 ～親子の心と体にやさしい灯りを～
千葉県 社会福祉法人童心会 中山 勲	保育の質を高める 0歳からの人間教育 〔新しい人間教育術の構築〕 ～Innovation of Human Education and Care～
東京都 社会福祉法人東京児童福祉協会 みさと保育所 中村 香織	箸を正しく持つ為にはどうすれば良い のか
東京都 社会福祉法人高洲福祉会 練馬区立石神井町さ くら保育園 有馬 聡子	生活経験や物語から広がる遊び ～子ども同士で楽しみ、広げていく物語 と遊びの世界～
新潟県 社会福祉法人下山福祉会 下山こども園 齋藤 温子	心を満たす一番の調味料！『人』との触 れ合いを通じた食育体験 ～職員と子どもとの食に関する機会づ くり及び家庭への食育推進について～
静岡県 社会福祉法人東益津福祉会 たかくさ保育園 望月 悠衣	「ごちそうさま、おいしかったよ」の声 が聞こえる給食を目指して ～残食から見る食環境を考える～

島根県 社会福祉法人花の村 幼保連携型認定こども園 あさり園 釜田 舞美	環境が作る子ども同士の関係性とは ～仲間がいるから個が育つ～
広島市 広島市坪井保育園 久保川 泉	『N 児の学びの物語を紡ごう』からの考察 ～保育士が語り合う中から見えてきたこと～
福岡県 社会福祉法人浄蓮福祉会 植木保育園 池田 勇	児童虐待が疑われる保護者への支援
北九州市 社会福祉法人みどり会 鴨生田保育園 若松 豊子	専門性を持って保育に臨む ～ソトス症候群で生まれたAちゃんの加配保育士となって～
大分県 社会福祉法人愛友福祉会 藤原こども園 安藤 萌	共に育つ食育活動 ～世界の料理を通して～

皆さまのご参加をお待ちしております。

■全国保育協議会ホームページ 開催要項・申込用紙はこちらをご参照ください。
<http://www.zenhokyo.gr.jp/>

◆令和元年度「社会福祉施設等調査」ご協力のお願ひ (厚生労働省)

厚生労働省は、全国の社会福祉施設等の数、在所者、従事者の状況等を把握し、社会福祉行政推進のための基礎資料を得ることを目的として、社会福祉施設等調査を毎年実施しています。本調査は、社会福祉分野の人材確保や制度改正に係る検討資料として広く活用されます。今年度は、10月1日に調査が実施されますので、お手元に調査票が郵送されましたら、ご回答へご協力くださいますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

調査の詳細は、別添の資料1をご参照ください。

◆「児童福祉週間」標語の募集 (厚生労働省)

国では、毎年5月5日の「子どもの日」から1週間を児童福祉週間として、標語・ポスターを使った周知を実施しています。

今年度は「その気持ち 誰かを笑顔にさせる種」を標語として児童福祉の推進が展開されました。現在、来年度の標語を募集していますので、広くご応募の周知にご協力をお願ひいたします。

■厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/jidouweek/index.html